

N T T 労組・退職者の会 大阪支部協議会報

2005-1号(通算41号) 2005年12月25日

# 提河泉

N T T 労組退職者の会・大阪支部協議会 発行責任者 鷺谷 憲  
編集責任者 小林 保  
〒553-0003 大阪市福島区福島 3 丁目1-73 コミュニティプラザ大阪内  
Tel. (06) 6451-8100  
Fax. (06) 6344-9382  
<http://business3.plala.or.jp/nttai/>

安心・信頼・生きがい、  
あふれる 21世紀、みんなと共に

## 紙面より

定期総会模様……………2頁  
全電通広島被爆者体験記2……………2頁  
イベントのお知らせ……………3頁  
1. パンゴン教室 2. 美術館と酒蔵見学  
3. いきいき講座について……………3頁  
男の料理教室に参加して……………3頁  
二つのグラウンドゴルフ大会……………3頁  
人の動き……………3頁  
各ブロッック懇親会模様……………4頁



## 会費等の口座振替の取組 折鶴運動の継続等決定 第八回定期総会開催

大阪支部協議会第八回定期総会は、一〇月二二日午後一時よりコミュニティプラザ大阪で開催されました。会議は廣道副会長の司会で始まり、村代議員を選出、冒頭に亡くなられた会員への黙祷後、鷺谷会長、内堀中央協事務局長、川本N T T 労組大阪総支部副委員長の挨拶の後、来賓挨拶、四年度活動報告および二〇〇五年度活動方針案の提案、松山副会長より二〇〇四年度決算報告、二〇〇五年度予算案の提案、上田会計監査より決算監査報告があり、質疑討論の結果原案通り決定されました。引き続き永年役員表彰を行い大串副会長の閉会の挨拶で終了しました。(2面へ)

## 新年を迎えるにあたって

### 現退一致の運動推進は不変のもの

N T T 労組大阪総支部 執行委員長 山田 健一

退職者の会の諸先輩および、御家族の皆様には、日頃からN T T 労働組合はもとより、大阪総支部の活動に対して、お寄せ頂いています御理解と御協力に、心から御礼を申し上げます。

とりわけ、本年9月に実施されました第44回衆議院議員選挙におきましては、弱者切捨ての政治を強硬に押し進める小泉政権に対して、退職者の会の皆様方のお力を借りて、N T T 労働組合の組織内・準組織内の候補者はもとより、全推薦候補者の必勝に向けて、全力で頑張ってもらいました。結果としては、大阪10区で準組織内候補者であった、肥田美代子君の当選を勝ち取ることができました。

当該エリアを預かる現役の責任者として、退職者の会の皆様方に対して、心からお詫び申し上げます。

今回のことを教訓にしながら、より一層、退職者の会の皆様方との連携を強めながら、勤労者・国民にとって、より良い政治の実現に向け、邁進してまいりたいと思っておりますので、引き続き御協力のほど、よろしくお願いしたいと思います。

さて、明年の2006年においても、現役にとつては多くの課題が山積していますが、中でも大きな課題は、「N T T 西日本グループの新たな業務運営体制」を如何に構築していくのかといった点であります。

電力系の他事業者と熾烈な競争状況にあるN T T 西日本グループの生き残りを賭けて、現行の業務運営体制を見直すというものであり、具体的には、①関西で1つの事業推進本部の設置、②現行のN T T 支店の大幅な権限委譲、③現行のアクト社・メイト社・B A 社の統合などであり、組合員の雇用を守るためにも、労働組合としての対応が求められてきます。

会社組織の「業務運営体制の見直し」は、N T T 労働組合の組織再編も同時に、議論せざるを得なくなります。

仮に、N T T 労働組合の組織形態が変更になったとしても、退職者の会の皆様方との「現退一致の運動推進」は不変のものでありますので、これからも大所高所に立った助言を現役に賜りますように、お願いいたします。

最後になりましたが、退職者の会の更なる発展と、諸先輩の御活躍と御健勝を祈念し、新年を目前に控えての御挨拶とさせていただきます。

### 定期総会を終えて 高齢者に多くの課題

N T T 労組退職者の会大阪支部協議会 会長 鷺谷 憲

第8回定期総会は10月22日に無事終了しました。昨年度は支部協会の活動にご理解とご協力賜り取り分け数多くのカンパ活動に多額のご協力を戴いた会員の皆様に厚くお礼申し上げます。

私達高齢退職者を取りまく情勢は厳しいものがあります。

16年度の税制改正で年金課税は強化され、それに伴う健康保険料と介護保険料が増加されます。これには激変緩和の措置を講ずるよう取り組みの中で一定の前進が期待出来ますが、18年には高齢者の医療制度が改悪されようとしています。厚生労働省は医療制度改革試案を公表しましたが、この試案は医療を抑制する為に、高齢者に自己負担を増求めるもので、政府はこの試案をもとに来春の通常国会に医療制度改正法案を提出することになっていきます。試案では75才以上の人に新たに保険料を徴収することや、診療時に窓口を支払う患者負担も増加しますし、入院時の自己負担も増えます。高齢者の負担は増えるばかりです。

高齢退職者連合では医療制度について政府に要求しているところですが、頼みとする民主党が先の総選挙で激減し、自民党が圧倒多数の今の国会では要求実現は難しい状況です。今の自民党は平和憲法を改悪しようとしていますし、イラクへの自衛隊派遣は延長する構えです。私達の要求実現の為に院外での大衆行動を強化する必要があるのではないのでしょうか、民主党、連合には強力なリーダーシップを発揮して、大衆行動を組織してもらいたいものです。

来年も課題は多くありますが大阪支部協として初めて文化祭を開催したいと思っています。会員皆様の余技作品(絵画、書道、写真、陶芸、手芸品、俳句、川柳、短歌etc...)を展示させて戴きますので多数の出展をお願いします。間もなく2006年を迎えますが、情勢は厳しいが明るく、元気で頑張ります。皆様方にはご健勝で良いお年をお迎えすることをお祈りいたします。

## 行雲流水

平和学習、行動に力を入れ、厳しい戦中、戦後の記録を風化させない運動にも取り組んだ二〇〇五年も過ぎようとしています。新年に向けて会報も今年の最終号です。一十一月末に連合高退会大阪の総会がコンボで開催されました。現状では残念ながら総会の議題から我々の先行きに明るい展望は少ないようです。年金、介護、医療、税制と厳しい環境にあります。希望をもつて望む新しい活動方針でも全てが関わるこの四つの施策の改善、充実を求めて運動を展開していくことになりました。

世相でも暗いニュースが多い中で、明るいニュースの一つ、我々もずいぶん応援してきましたノンプロN T T 西日本からプロ野球にドラフトで五人が指名されるという快挙がありました。二九歳の夢が叶った「楽天」のルーキーに喜びを共にしたい思いです。社会人選手権では惜敗しました。さらに他の指名選手の来季の活躍を期待します。

大阪支部協のボランティア活動の実際を中央協の方から取材に来阪されました河内、泉州ブロックの担当の方々に協力を願いました。二日目は「愛の家」を訪問し、工房の作業も見学して実態を取材されました。新年のN T T 労組新聞「ひろがり版」に掲載される予定です。

医療保障制度の充実を求める署名活動にご協力有り難うございました。合計五六九通郵送による返送は八〇通でした。全国の署名は一二月八日の中央総行動に結集します。この署名の取り組みでは、周知の方法、集約の手段について強烈なご批判を頂きました。厳しく受け止めております。お詫びし、容赦をお願い致します。

師走の慌ただしい季節になりました。健康に留意されて新年を迎えられますことを祈念します。「提河泉OB」来年も頑張ります。

## 活動を振り返ってと具体的な取組

「一年間の活動を振り返って」及び「二〇〇五年度具体的な取組案」は原案通り承認されました。原案の主な内容は前号で記載の通りですが、今年度新たに、支部協会費・共済掛金の口座振替の取組の準備、また昨年初めて取り組んだ折鶴運動は今年も継続することなどが承認されました。

## 予算(案)年度途中加入者は会費半額に

予算案は原案を承認されました。なお、本年度より年度途中加入者(二〇〇六年四月以降)の支部協会費は半額の二二〇〇円に値下げ致しました。

## 永年役員表彰は一七名

二〇〇四年度の永年役員表彰者は次の通りです。(敬称略)

## 中央協表彰者(一五年表彰)

植村 正和 森川伊津美

## 支部協表彰者

(一五年表彰)

山本 壽雄 今井 明

(一〇年表彰)

古布 充 佐々木 鳴美

平坂 隆吉

(五年表彰者)

仲宗根 功 上山百合子

藪内 翠 茶谷 博司

宮田 信子 小山 章

河霜 昭子 小山 實

藤原 秀 源 勝子



10年表彰を受けられた左より古布、佐々木、平坂の3氏

## 全電通広島被爆者体験記②続

この体験記の最後のくぐりで植野さんはこう記されている。「戦犯として一連の政治家を断頭台に送ってそれで口をぬぐっていられるのだから。官権の圧力に批判の声もあげず、時に流れ、ひたすらに参戦への道を走ったわれもまた、その罪を問われるべきではなかろうか。」さらに彼女は続けて「道徳的なものはそちのけで殺し合う悲惨、人間を非人間的な行為に追いやつていくもの、戦争。ましてや世紀の怪物、核戦争の罪悪を思うとき、いま、戦場の体験者がなにをなすべきか、深く頭を下げて思うのである。」と締めくくられている。

長文のためやむを得ず一回にわたる連載となったが、もう一度前回の会報と続けてお読み願いたい。憲法改正問題が焦点になろうとしている。戦争体験のない年代層が政治の中心になりつつある今、体験者がなにをなすべきか。被爆者でありながら自らをも責め、昭和四十六年に没せられた植野さんが健在ならば何をなさるだろうか。

原子雲の下に  
生きつづけて (第一集)  
より 転載

全電通広島被爆者  
連絡協議会発行

## 原爆の下を生きのびて(2)

植野 サダ子

六日の朝、一条の閃光は瞬間にしてロシマを現世のものとも思えぬ形相に変えた。爆心地から四百米のムゴさをどのように表現しても想像と体験とのズレを結びようはない。

その日も晴天の暑い日ははじまるうとしていた。八時に出局四階庶務課に十名の顔がそろったころ、飛行機の爆音を聞いたように思い「B29のような」と隣席の主事に話しかけたとき、強度な雷光のようなものが目をさした。大音響とともに視界は暗黒となり、ブツともちあげられてなげだされ、地の果てまで落ちていくようなそんな気分のなかで不思議と恐怖感を伴わずに死を思った。こんなのを「死」というのか、とそう思った。

そのとき頭上で何が起こっていたのか、後日の原爆資料をひろつてみよう。

投下された爆弾は高度千五百米附近で、閃光を発するとともに、最初の爆発を起し、赤く太い火柱を引いて七秒間急速に落下したが、上空五百七十米に到るや、一大炸裂を起して直径約六十米の小さな太陽のごとき火球となった。

その爆発後一万分の一秒で生じた温度は三十万度であり、おどろくべき速さで拡がり、巨大な火柱となつて地上を放射性のものに変えて直ちに白煙を生じた。白煙は赤黒い雲を中心に黄色をおびた雲に包まれ、あたかも松茸が生え出たように渦を巻いて上昇し、一万数千米におよぶ人道雲状に成長した。

その雲の下では不気味な闇の中の静寂がしばらくつづいた。五分か六分か、あるいはわずか三十秒の過ぎごとであつたかも知れぬ。真の闇で、もの音ひとつしない不気味な時間がそこにあつた。

やがてそれは悲痛な呻きで破れた。徐々に明るさを取りもどし、視界がひらけたときの形相に息をの

思いであつた。金網入りの窓ガラスはあとかたもなく飛び散り壁はおち机も椅子も形を留めるものはひとつとしてなく、それらの下敷となつた人の呻きと、泣き叫ぶ学徒と、教官の怒号と入りまじつて修羅場と化した。

このときはじめて恐怖がやつてきた。

どこをどう這いだしたのか廊下らしいところにでたとき、左肘の肉がふとんで骨が露出していることに気づいたが、極度の恐怖狼狽とで傷の痛みなど感しさせなかった。着ていたブラウスを引きちぎつて応急に三角布の代用としてみれば、あとは破れたモンペに下着一枚、素足のままで埋れた階段を滑りおりたころは、二階の通信課も一階の受配課も煙にまきこまれていた。

修羅場と化したとはいえ、鉄筋の局内はまだしも、屋外では電線は切れてたれさがり、鉄柱はあめのように曲がり、そこにもそこにも黒焦げの死体が重なり合っていた。髪に火がついて生きながら焼かれている人がいた。火炎また火炎の中を、死かばねにつまづき、破壊物をこえ、幾度かおう吐しながら逃げまどつた。

京口御門(上八丁堀)のあたりで、くずれた家の下から「キツ」とぞた左手首が「ネエちゃん、ネエちゃん」と助けを呼んだが、私は立ち止れなかった。後日の重荷になるうことを、そのとき考えてみるような心のゆとりもなく、助かりたいという一念だけで走つた。

川は幾千とも知れぬ負傷者でひしめた。常盤橋の下を避難者を満載して川上にのがれようとする幾ぞうかの釣舟があつて、多くの人々がそれに群がった。より安全な場所へと焦慮する人と、これ以上を乗せまいとする人と、重みで沈んでいく舟と、結局はあげ潮に流されていく人びと、平時では想像しようもない光景を

目のあたりにした。

対岸にも火の手があがり、土手の柳も生木のままで火をふいた。どんより黄色い太陽が頭上にあつて正午に近いころ、黒大豆のような雨にたたきつけられ、たづまきのような風で川面は荒海のように波だつた。石垣を背に負傷者どうし腕を組んで、長い列をつくり波と闘つた。

― ねむつたとは思えない ―

われにかえつたときは、潮の引いた浅瀬に打ちあげられて、つめたくうごかない人の群のなかにいた。太陽が西の空を真紅に染めていた。六時間か七時間かの説明しようのない時のなかに身をおいて、よくも蘇生できたものと思う。

死亡者は二十万とも二十万ともいわれて、その数はつかめない。電信局ではその朝在局の被爆者百十七名のうち九十七名の犠牲者を出し、生存者はわずか二十名にすぎない。

生きのびて思う。

原爆被災当時の状況何もわからぬ混乱の渦の中で、両親の骨もひろえず、身のまわりのすべてを失い、八月十五日終戦の放送があつてもなく、血を吐きながら聴力まで全く失つたが、音のない世界も住みなれてみれば生来のちやめつ気でなんとか行けそうだった。ガラスの破片も十年がかりで四十数個出してもらっているが、同居生活二十余年ともなればわが身のうち、白血球が一万台をあがつたりさがつたりで気はもめるものの、さしむきどうということもない。左手もみにくい傷跡は残つたがクロイドと違つて季節に痛むということもない。しかし、心の中の傷口はいまも何かにふれてはどす黒い血をふく。左手首に追われても仕方があるまい。

一昨年ある集会で「あの日味をさがしもとめることに懸命で追いが負傷者を……」と、そこで絶句した人があつた。そのあとのことをどの

ような言葉で綴つてみてもウソになろうと、私もまた胸をつまらせたことであつた。

マスコミは「被爆者は語りたがらぬ」というが「語れぬ」ものも含んで、多くの被爆者が同じ思いの十字架を背負っているのではなかろうか。これはひとり被爆者のみでなく、六月二十三日を終戦の日と思つてという沖縄戦の体験者や、銃をあてがわれた第一戦線のそこで、やみくもにやってくる、生か死かをまねにして、別人の自分を発見したであらう兵士なら、共通の実感としてうけとめてもらえるかも知れぬ。

大正の末ごろから昭和のはじめ、すでにアンチ・ミリタリズムなど反戦組織があり、舞台ではレマルクの「西部戦線異状なし」トレスチャコフの「吼えろ支那」久保栄の「中国湖南省」などはさかんに上演され、プロレタリア文学の中国研究もさかんであつたらしい。芥川龍之介は「將軍」で軍神化されたものをばきとつて軍国主義批判へ視線をあてている。軍部内でも若い将校達による反戦思想は、一九三六年に二・二六事件となつて、天皇の世紀に生きた国民をひどくおどろかせた。

積極的な反戦活動がみられないわけではなかった。

戦犯として一連の政治家を断頭台に送ってそれで口をぬぐっていられるのだろうか。官権の圧力に批判の声もあげず、時に流れ、ひたすらに参戦への道を走ったわれもまた、その罪を問われるべきではなかろうか。

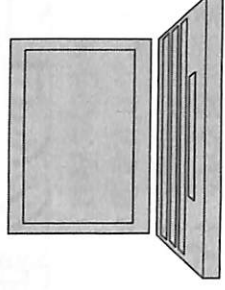
道徳的なものはそちのけで殺し合う悲惨、人間を非人間的な行為に追いやつていくもの、戦争。ましてや世紀の怪物、核戦争の罪悪を思うとき、いま、戦場の体験者がなにをなすべきか、深く頭を下げて思うのである。

(広島電信分会)

## パソコン教室

現職・退職者共同開催による  
初級パソコン教室生徒募集

1. 開校期間 2006年2月6日(月) 開校  
毎週月曜日 17時～18時30分  
2006年3月27日までの8回
2. 場 所 コミュニティプラザ大阪 6階会議室
3. 内 容 インターネット メール ブログ等の初級
4. 募集定員 15名 抽選により決めます。  
抽選結果は別途お知らせします。
5. 申込締切 2006年1月10日(火) 16時までに  
大阪支部協へ ☎06-6451-8100
6. 費 用 無料(教材費等は別途徴収します)
7. 講 師 NTT労組大阪総支部 杉総務部長  
退職者の会大阪支部協議会 松山副会長他
8. そ の 他 教室用パソコンは、NTT労組大阪総支部のものを借用しますが、台数に制限がありますのでノートパソコンをお持ちの方はご持参下さい。



## 美術鑑賞&酒&季節会席の日帰りバスツアー 西宮大谷美術館と神戸灘五郷酒蔵見学

2006年2月10日(金)  
午前9時集合・出発

集合場所 JR大阪城公園駅前  
会 費 3,500円  
(会員外4,000円)  
定 員 50名(先着順)  
申込締切 1月20日(金)  
16時までに大阪支部協へ電話で  
☎06-6451-8100



コース 大阪城公園駅→大谷美術館→神戸酒心館(見学・試飲・季節会席)→灘界隈(灘泉・瀧鯉蔵元酒匠館・菊正宗・白鶴・澤の鶴等)→大阪駅西口(16時頃)

別途案内及び振込用紙を送付いたします。  
北摂ブロックがお世話します

## 今年度の「いきいき講座」は前期・後期に分けて

今年度のいきいき講座は、多くの会員が参加しやすい形で、内容の濃い充実した講義と、楽しく聞けるものになっています。

- |     |           |                   |              |              |              |             |              |
|-----|-----------|-------------------|--------------|--------------|--------------|-------------|--------------|
| ①前期 | 3回        | 3月14日(第2火曜日)      | 4月12日(第2水曜日) | 5月11日(第2木曜日) | 7月11日(第2火曜日) | 8月9日(第2水曜日) | 9月14日(第2木曜日) |
|     |           |                   |              |              |              |             |              |
| ②後期 | 3回        |                   |              |              |              |             |              |
|     |           |                   |              |              |              |             |              |
| ③   | 10月(日時未定) | は演芸と終了式・懇親会を行います。 |              |              |              |             |              |

## 長生きする方便 男の料理教室に参加して

河内ブロック 三好 治郎

去年は「にぎり寿司」の一回だけだったが、今年は二回で「クラシックオムライスと酒のあて」と「にぎり」と細巻きのコラボレーション」で開校された。

私自身は訳あって退職後五年余、スーパー等への買い物と料理をしている。料理にレシピはあっても「決まりは無い」を好いことに自分好みにアレンジをしている。好き嫌いが多い方なので食材選びに偏りが出来、従って料理のレパートリーの少なさ、狭さ等が無意識の内に結果として出て来ていた。「またか!」とか「レパートリー狭いな」の小言をちよくちよく小耳に挟むようになる。

料理教室への参加は、気分転換になり忘れていた事を思い出させてくれたり、知らなかった事を教わったりと料理の基本に戻り、自分好みの

第四回を迎えたGG主催のグラウンドゴルフ大会は、十一月十五日、十六日福井県、花夢生グラウンドゴルフコースと芝政グラウンドゴルフコース、合計六ラウンドトータルで開催した。ベテランから初めての人まで参加二九名。視覚障害者のKさんも参加された。

車中、一位と二位を当てる馬券とその予想屋二人が騒ぐうち東尋坊に到着、昼食後、花夢生(カマウ)コースで三R。トリッキーな難コースで池ボチャ、傾斜がきつく打つても打つても元に戻ってくるコース、砲台グリーンを超えれば砂利道と悪戦苦闘。それでも紛れで、いや腕前でホールインワンと一喜一憂で終了。

夜は声原温泉でご馳走の膳で酒宴は盛り上がり、カラオケ、二次会と予定通り。明日の天気を気にしながら就寝。

二日目早朝の空は明るく晴れ、強運揃いと喜んだのも束の間、芝政つぐみの森コースでは、北陸路のしぐ

アレンジを余り許さない料理を味わってみた。先日、新聞に料理教室に通った中高年の男性は、料理だけでなく、その他の家事にも積極的になる。つまり、家事全般に関して積極的姿勢が出てくると「ベターホーム協会」の調査結果が載っていた。女性に比し弱いと言われる男性が長生きする方便に料理教室に積極的に参加されることを!「本年度の男の料理教室」に期待したい。

## 二つの グラウンドゴルフ大会

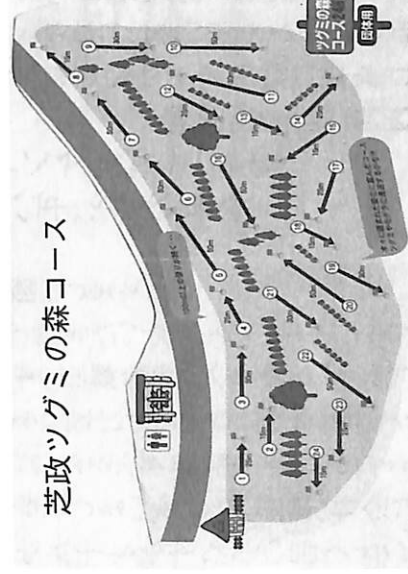
グラウンドゴルフサークル  
「楽友会」第4回大会

奈落の淵に散った  
芝政グラウンド  
ゴルフ大会  
泉州ブロック 谷口 勝

## 第二回大阪支部協議会ブロック対抗 グラウンドゴルフ大会

第一回大阪支部協議会・ブロック対抗グラウンドゴルフ大会は、二月一日、大阪市蒲生公園で三六名の選手と応援団約一五名でブロック対抗の団体戦と個人戦を併用して開催された。ブロックは、なにわ、北摂、河内、泉州、支部協、サークルチームの六団体で一ブロック六名の編成。

団体優勝は泉州ブロック、第2位は北摂ブロック、第3位なにわブロック、第4位はサークル、第5位河内ブロック、最下位は支部協チームでした。個人優勝は、山本壽雄(北摂)、準優勝は河内四郎(泉州)第3位は谷口勝(泉州)で、ホールインワンは合計一四本でした。



芝政ツグミの森コース

れ、雨合羽を着たが寒さが強く手がかじかも悪条件のプレーでしたが、コースの芝は整備も良く変化に富み最高の公認コースでした。賞品稼ぎと自負した私は未熟な腕前にて、奈落の淵に散りました。

優勝は廣道義(泉州)、準優勝は鷲尾長次(河内)、第3位山本慶次郎(泉州)、第5位鷲谷憲支部協会長、ブービーは視覚障害者のKさんでした。グラウンドゴルフは健康増進、ストレス解消に最適なスポーツと思います。皆様の入会をお待ちいたします。

## 忘年会・新年会

ご予約・お問い合わせは  
コミュニティプラザ大阪  
☎06-6454-1153

新規満足メニュー

牛肉・豚肉の  
しゃぶしゃぶ鍋  
食べ放題・飲み放題

5,500円

(小鉢・うどん付)

2時間

4,500円パック(2時間)

□福鍋・ちゃんこ鍋・うどんすき

5,500円パック(2時間)

堂島鍋・すき焼・しゃぶしゃぶ・魚すき・ちり

パックは付出し・お連れ・うどん 期間1月末まで  
飲み放題付き。

## 人の動き

ご冥福をお祈りします(いずれも2005年12月3日現在)

|        |      |       |       |       |       |
|--------|------|-------|-------|-------|-------|
| 北村 裕子  | 4・7  | 多田 邦男 | 8・16  | 森下 勝  | 11・5  |
| 藤田 善幸  | 7・20 | 大矢知 力 | 8・25  | 糸川 宏  | 11・8  |
| 蔭山 まつゑ | 7・29 | 福井 孝之 | 8・31  | 小谷 修  | 11・9  |
| 安井 成一  | 8・1  | 山下 郁於 | 9・4   | 藤森 隆男 | 11・17 |
| 小川 純夫  | 8・5  | 竹田 博  | 9・14  | 松本ハツ子 | 11・19 |
| 藪中久美子  | 8・5  | 仲野 義孝 | 9・25  | 浅田 正義 | 11・29 |
| 上田 哲男  | 8・14 | 川勝 実  | 10・9  | 宮浦 茂  | 11・29 |
| 西尾 弘之  | 8・15 | 木村 敏子 | 10・18 | 桑原 宏之 | 11・29 |
| 田井 忠義  | 8・16 | 池田多美男 | 10・28 | 保久    | 12・3  |

謹 賀 新 年

平和を願い、愛を育み  
生きがい、を求めて新しい年を！  
今年もよろしくお願ひいたします  
大阪支部協議会役員一同  
全ブロック委員一同

……会員が一番多く集まる「ひろば」……

ブロック懇親パーティー特集

今回は、各ブロック主催の懇親パーティーに参加された方々からの投稿記事を集めました。主催する方も、少しでも有意義な一日となるよう、ビンゴゲーム・マジックショー・抽選会・戦争パネル展・愛の家利用者さんのご招待など、創意工夫をこらしその成果を挙げることでできました。条件が整えば、4ブロックが一つになって大懇親会を開催したいものです。

当日は生憎のどしゃぶりの雨、足元が悪いせいか予定の時間になっても「まだ十名近くの方がお見えにならないので、もう少しお待ちしましょう」とおっしゃられ少し遅れての会の開催となりました。参加希望していたにもかかわらず、参加出来なかった人のことを考え少し心が痛む。約束日や時間を忘れたのか、間違えたのか、もしや病気で来られなくなったのかなどと、次の時には元気なお顔を見せてもらえる事を願いつつ、用意された料理の並んだテーブルを囲んだ人達は、なつかしい顔あり、又初めてお目にかかる人などさまざまではありましたが、同じ会社の同僚には変わらずお互いにくちつけ、色々な話しに花を咲かせ楽しいひと時をすごすことが出来ました。また会の中で抽選会があり、皆それぞれに自分が当たることに期待しながら、読み上げられる数字に歓声と落胆した声が会場に響いた。私は運が良く五等があ

抽選会で五等に当選  
再会を楽しみに

今年のブロックの懇親会は偶然にも、私の六十二歳の誕生日でもあり沢山の方達にお祝いをして頂いたようで、最高の誕生日であり、また心に残る日となりました。

この様な楽しい集いを設定して戴いた役員の皆さんにお礼を申し上げます。来年同じ顔に、また新しい顔にもお逢い出来るのを楽しみにしています。

タイムスリップの場  
新しい顔に逢いたい

「懇親パーティー」この人を引き寄せ、文字に誘われて今回で三回目の参加となりました。

会場に入つたとたん懐かしいカオ、お！顔。何年いや何十年前にタイムスリップし、当時の想い出話に花が咲きます。また退職者の会の活動も見聞きすることができ、有意義な時を過ごすことが出来ました。

「懇親パーティー」この人を引き寄せ、文字に誘われて今回で三回目の参加となりました。

次回も是非参加したい  
「越の寒梅」に舌鼓

又、今回は淡輪愛の家の子供達の作品販売(押し花を使つたうちわ、おはし、カード入れ、陶磁器、軍手等)があり、皆さん沢山買つてくださり、あらためて暖かい気持ちをいただきました。ありがとうございました。

大串ブロック長の挨拶に始まり、来賓の方々の紹介、挨拶。前衆議院議員の肥田美代子氏は挨拶の中で自宅を絵本図書館として開放されていること。絵本には子供だけでなく老後に是非読んで欲しいと結ばれました。北摂ブロックの活動報告等があり、二部に移り、乾杯のあと和やかに飲食、その間にカルチャー教室で学ばれたマジックの披露、皆さん中々の腕前でした。中でも飛び入り参加された長田さんは、独学でマジックを習得されたそうで、すばらしかつたです。ビンゴゲーム(全員に賞品あり)で盛り上がり楽しい歓談中、お開きとなりました。

大串ブロック長の挨拶に始まり、来賓の方々の紹介、挨拶。前衆議院議員の肥田美代子氏は挨拶の中で自宅を絵本図書館として開放されていること。絵本には子供だけでなく老後に是非読んで欲しいと結ばれました。北摂ブロックの活動報告等があり、二部に移り、乾杯のあと和やかに飲食、その間にカルチャー教室で学ばれたマジックの披露、皆さん中々の腕前でした。中でも飛び入り参加された長田さんは、独学でマジックを習得されたそうで、すばらしかつたです。ビンゴゲーム(全員に賞品あり)で盛り上がり楽しい歓談中、お開きとなりました。

暖かい気持ちありがとうございます

愛の家の作品も販売

たりました。

賞品に関わらず当選すると言うことはうれしい事なのですね、当たって賞品をもらいにくく人達の姿はうれしそうな中に少し自慢そうにも見えた。

この会を企画して、お世話を担当して下さる方達のご苦労の上にこの一日があるのだと感謝でいっぱいです。ありがとうございます。また皆様のお元気なお顔に再会出来る事を今から楽しみに元気に毎日過ごしたいと思ひます。

最後に、このような楽しいパーティーを企画された幹事さん初め、お世話く

また参加者の中には九十歳の高齢でなお元気矍鑠として参加された方もおられ、私も後十年は元気にいきられそうだと、大きな勇気を頂きました。

また参加者の中には九十歳の高齢でなお元気矍鑠として参加された方もおられ、私も後十年は元気にいきられそうだと、大きな勇気を頂きました。

北村恒彦(なにわ)

今日の幸せに乾杯！  
会への信頼を実感

退職をし、N T T 労組退職者の会に入会しました。家庭直送されるN T T 労組新聞、其河泉OB会報を読み在職中を懐かしく思っているこの頃、河内ブロック懇親会開催の案内を頂き、参加葉書を即刻返送。やつて来た十一月五日、会場は、コミュニティプラザ大阪、参加者はブロック各地から集合した一二〇名位、旧知の先輩・同輩の顔は意外と少ない。初対面の人にもすぐに馴染むことができた。二十年から一年と久しぶりの再会、まるで同窓会の気分、当時にタイムスリップ、話が弾んだ。懇親会は堅苦しくないことが嬉しい。新潟支部協議会から震災見舞いの返礼という清酒「越の寒梅」を皆まで分けて合つて舌鼓。あとはお酒、料理でワイワイ和やかな雰囲気一杯ビンゴゲームで盛り上がり楽しく有意義な時間が過ぎていった。次回も是非参加したいと思ひながら会場を出た。準備をして頂いた皆様に感謝！

の感動を頂いた懇親会でしたが、世話

十六年ぶりにN夫妻とお会いでき、つもる話に花が咲ききりが無い。多くの感動を頂いた懇親会でしたが、世話

今日どなたにお会い出来るかな、と期待しながら会場へでも期待はずれが残念、淋しくテーブルにつき、ビールで乾杯、まわりの人達と楽しく過ごす。幻の酒「越の寒梅」を初めて口にし、おいしくて喉に通すのがおいしい思いをする。

十六年ぶりの再会  
ジャンケンで二等賞

家族になるべく世話をかけることのないよう努力していきたいと考えております。退職者の会へもなるべく参加させて載せたいと考えています。よろしくお願いします。

今私でできることといえば、歩くことに関係する、地図を読んだり、書いたり、計画したり、そして歩いたり、健康食材の勉強をしだしています。何時しか八十才がすぐ手の届くところまでできてしまいました。後は、社会に、

うと裸足のマジックの腕前をみせていただき、私もなんとか勉強してみたいなとも考えています。

玄人裸足のマジック  
もつすぐ八十才で勉強中

下さる皆様、誠に有難うございました。

愛の家利用者さんの作品の展示販売は約5万円の売り上げとなりました。また、当日、2名の会員さんからも、直接愛の家へご寄付をいただきました。ありがとうございます。

お 知 ら せ  
泉州ブロックホームページをリニューアルしました。アドレスは変更せんが、アクセスできない場合は、再度、アドレスの投入をお願いします。  
http://www13.ocn.ne.jp/~sensyuob/

一人ひとりの個性を考慮しつつ、良い経験を積み重ねていけるような支援を私も目指していきます。

利用者たちは様々な事情を抱えており、信頼関係を築くという点では同じ人との関わりを継続させることで落ち着くというメリットがありますが、潜在的に外に出たい、いろいろな経験を積みたという方も大勢いるのではないかと思います。

関わりが少なくなりがちです。関係が主で、それ以外での様々な人との関わりが少なくなりがちです。

話してくれました。

楽しいことを  
分け合つて生きたい

人様には大きな苦勞であつたことと感謝しています。